

令和3年7月17日と8月21日の作業の報告です

今回のいただきますの森日記は令和3年7月17日（土）と8月21日（土）の作業の様について、お知らせします。

現在、いただきますの森の作業は、毎月第3土曜日を定例作業日としており、また、その時々で必要に応じた作業を不定期にフレキシブルな日程で参加できる人が参加するというスタイルで作業を行っています。

7月17日には大豆に土寄せを行い、草刈り作業、8月21日は大豆の花の観察と草刈り作業を行いました。

いただきますの森づくりは、果樹や野菜などの作物を育てるという農的なアプローチにより、人の生活を含めたビオトープ（生き物の生息場所）をつくり、その中で実った自然の恵みを感謝していただく、そんな場所をつくっていかうという取り組みです。

私たちの取り組みは、自然環境を保全するために欠かすことができないと考えられる生き物たち（土壌微生物や虫、草など）を根絶しようとはせず、むしろ共生することを選びます。ですから生き物の活動が活発なこの時期は、どんな作業をするにしてももれなく草刈り作業が付いて来ます。

---

7月17日（土）午前8時30分から大豆畑の土寄せ及び草刈り作業を行いました。今回は、ちびっこの参加者が3人いて、いつにも増して、現場が和やかなムードになりました。



しかし、そんな和やかムードとは裏腹に、朝から強烈な陽射しが照り付け、すぐに汗だくになるハードな日でした。それでも城山グラスホッパーズの皆さん、土寄せ班と草刈り班に分かれて、手際よく作業を行っていくところはさすがです。



今後2回目の土寄せと摘心（主茎を摘み取り、背を低くして、分枝を生長させ、収量を増やしたり、倒伏を回避させるために行う作業）もしたらとアドバイスしてくださる方もいらっしゃいましたが、労力を少しでも省力化するために、今回は時期を少し後ろ倒して土寄せを一度で済ませました。また、摘心もせず、このまま生長させてみようかと思っています。

---

8月21日（土）午前8時30分から大豆の花の観察と草刈り作業を行いました。



今、大豆畑はお花見時です。愛らしい小さな花が咲いています。この花が実を結んで大豆の実がなります。

ところどころ葉っぱに穴が開いていますが、これはマメコガネの食痕です。

光合成に影響があるほどの食害は全くありませんので、皆さん、おおらかに見守っています。



大豆の畝と畝の間を車いすでも通れるくらい広くとっていますので、刈る草の量も半端じゃありません。



大豆も周りの草に負けじと1か月で見違えるほど大きく、たくましく生長しています。



厳しい暑さの中、ちびっこも暑さに負けず、夢中で草刈りしてくれます。



草刈り完了です。

それにしても大豆の生長する速さは目をみはります。給食残滓を使った堆肥のおかげもあるのでしょうか。

将来、もし食糧に困っても、豆と堆肥さえあれば生きていけるような気がします（笑）



皆様、お疲れ様でした。締めくくりのご挨拶。本日も体調不良やケガなどもなく、無事に終了することができました。次回のいただきますの森の作業は、徐々に秋冬モードに入り、固定種大根の種蒔き準備を予定しています。興味や関心のある方は、環境政策課花と緑と水の係までお問い合わせください。

（文責：生活環境部環境政策課花と緑と水の係 長南）